



総研大ニューズレター

第 83 号 2015. 4 発行

●目次

【今月のトピックス】

平成 26 年度春季学位記授与式

平成 26 年度（第 20 回）長倉研究奨励賞研究発表会・授与式

総研大広報連絡会会合

高エネルギー加速器科学研究科 大学院説明会

プレスリリース

「食虫植物サラセニアの

小動物を食べる葉ができる仕組みの発見」

総務課

学務課

広報社会連携室

高エネルギー加速器科学研究科

広報社会連携室

【イベント情報】

主なイベント予定

4 月 6 日

平成 27 年度春季入学式

4 月 6 日-10 日

平成 27 年度前学期総研大フレッシュマン・コース

【今月のトピックス】

● 平成 26 年度春季学位記授与式



3 月 24 日（火）に葉山キャンパス 2 階講堂において、平成 26 年度春季学位記授与式が行われました。（修了生は、課程博士 43 名、論文博士 6 名。今回含め、これまでの修了生は、課程博士 1,777 名、論文博士 240 名。）

式典に先立ち、野牧愛さんによるピアノ演奏が行われました。

式典は、開式の挨拶の後、修了生一人一人に、岡田学長より直接学位記が手渡され、修了生は何年にも及ぶ大学院生活の締めくくりとして、感慨もひとしおのようでした。

その後、学長より式辞があり、出席者は真剣な面持ちで聞き入っていました。

最後に、修了生代表として統計科学専攻の佃康司さんより謝辞が述べられ、閉式となりました。

【総務課】

● 平成 26 年度（第 20 回）長倉研究奨励賞研究発表会・授与式

平成 27 年 3 月 23 日（月）に開催された学術交流会のプログラム（第 1 部及び第 2 部）として、平成 26 年度（第 20 回）長倉研究奨励賞の最終候補者 5 名による研究発表が行われました。翌 24 日（火）に、長倉研究奨励賞授与式が開催され、天文科学専攻の片岡章雅さんと、生理科学専攻の田淵紗和子さんの 2 名に岡田学長から長倉研究奨励賞の賞状及び副賞等が授与されました。

また、その他の最終候補者の 3 名には、授与式にて、岡田学長から総合研究大学院大学研究賞の賞状と、本学の初代学長である長倉三郎先生の著書「複眼的思考ノススメ」が贈られました。



審査（ポスタープレゼンテーション）の様子



学長と長倉研究奨励賞・総研大研究賞の受賞者

受賞者一覧

○ 長倉研究奨励賞及び総合研究大学院大学研究賞

片岡 章雅 物理科学研究科天文科学専攻

研究テーマ「惑星形成初期におけるダスト進化理論の構築と観測による検証可能性」

田淵 紗和子 生命科学研究科生理科学専攻

研究テーマ「オレキシン神経の時期特異的運命制御によるナルコレプシー症状発現メカニズムの解明」

○ 総合研究大学院大学研究賞

SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante 文化科学研究科比較文化学専攻

研究テーマ「「私のワカ」パブリック考古学から見た現代ペルーにおける考古遺産の活用」

Mathieu OMET 高エネルギー加速器科学研究科加速器科学専攻

研究テーマ「国際リニアコライダーのためのデジタル低電力高周波源の制御」

西村 俊哉 生命科学研究科基礎生物学専攻

研究テーマ「メダカを用いた生殖細胞の性の研究」

【学務課】

● 総研大広報連絡会会合

2月20日に総研大広報連絡会会合が、学術総合センターで開催されました。

広報連絡会は、本学を構成する基盤機関の広報担当者（教員と職員）と総研大広報室で構成されており、主に情報共有を目的として設置されています。基盤機関広報担当者と総研大広報室は、いくつかの共通目的や共通課題を持っていますが、普段は電話やメールでのやり取りであり、担当者同士が直接会う機会は多くありません。そのため、基盤機関の広報担当教職員が顔をつきあわせて各機関広報の持つ問題と過去の事例の情報交換を行うことによって、それぞれの機関の広報事業を発展させることを目的に、総研大広報室主催で本会合を開催いたしました。

当日は、13機関から24名（内訳は教員と職員がほぼ半数ずつ）の参加があり、機構本部からも職員の方が見えられ、非常に活発な議論が交わされました。プログラムでは、まず総研大のおかれている現状についての認識が共有され、総研大外/学内広報の理念、目的、事業等についての説明がありました。その後、各基盤機関からの事業紹介があり、受験生をどう集めるか、各学問分野の特徴をどう広報に生かすか、現状の課題等が紹介され、他の機関との意見交換を行いました。

参加者からの意見にもありましたが、研究機関同士で広報のノウハウを共有するということがやはり重要であるということを再確認いたしました。総研大を構成する大学共同利用機関は、それぞれが異なる機構に所属していますが、総研大を介すると異なる機構との連携もとりやすくなるのではないかと思います。



【学長付 講師／広報社会連携室長 眞山聡】

● 高エネルギー加速器科学研究科 大学院説明会

高エネルギー加速器科学研究科では、3月7日（土）に東京・日本教育会館において、平成27年10月及び平成28年4月入学希望者向けの大学院説明会を開催しました。当日は、曇りがちで気温の上がらない中、関東近郊の大学以外にも遠く大阪や名古屋、福島など地方からの学部生、高専生や社会人など、22名に及ぶ多くの参加がありました。

説明会前半は、神山崇研究科長による挨拶及び研究科の紹介に続き、加速器科学専攻、物質構造科学専攻、素粒子原子核専攻から各2名の担当教員（修了生を含む）による専攻の案内・研究内容等についての説明を行いました。真剣に耳を傾け、熱心にメモを取る参加者も見受けられ、進学に対する熱意が伝わってきました。

説明会後半では、各専攻にわかれて質疑応答を行い、参加者は希望する専攻の担当教員から、詳細な研究内容や入学後の研究環境・生活環境、入学試験などについて積極的に質問していました。

説明会終了後には、個別にキャンパス訪問を希望する学生もあり、総研大進学への関心の高さが感じられました。

3月開催の大学院説明会は昨年度が初めての開催であり、今回は2回目でしたが、昨年度の参加

者 18 名を上回る参加者があり、大変盛況な説明会となりました。今回の参加者の中から、一流の研究者を目指すために総研大へ一人でも多く入学してくる学生が出てくることを期待しています。



【高エネルギー加速器科学研究科】

● プレスリリース「食虫植物サラセニアの小動物を食べる葉ができる仕組みの発見」

【概要】

食虫植物は奇妙な形の葉を持ち、小動物を捕らえ食べることで貧栄養地にも生育できます。進化学の太祖であるダーウィンは「食虫植物」という本を書き、その後も多くの研究がなされてきましたが、奇妙な形がどのように進化したかは未解明でした。

サラセニアは、北米原産で袋のような葉を作り、その中に消化液を溜め、落ちた小動物を食べてしまいます（図 1）。



図 1 サラセニア
Sarracenia purpurea の袋のような葉

で進化した可能性が高いことがわかりました。すなわち、葉の特定の場所で細胞の分裂方向を変える、という細胞レベルの変化で、平らな葉から袋への大きな形の変化が引き起こされていることが明らかになりました。この成果は、3 月 16 日に科学誌 Nature Communications（ネイチャー コミュニケーションズ）に掲載されます。

詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://www.soken.ac.jp/news/18239/>

従来、ハスのような盾状の葉を作るのと同じ仕組みで筒状の葉が進化したと考えられてきました。基礎生物学研究所および総合研究大学院大学 生命科学研究科 基礎生物学専攻の福島健児大学院生と長谷部光泰教授らは、同研究所の藤田浩徳研究員や川口正代司教授、東京大学の塚谷裕一教授らと共同で、走査型電子顕微鏡による形態観察、葉を作る遺伝子の働きを調べる実験、コンピュータシミュレーションによる再構成実験などを行い、袋のような葉の形作りの仕組みを調べました。その結果、サラセニアの葉は、盾状の葉とは異なった独自の仕組み

【広報社会連携室】

【イベント情報】

●総研大の行事

4月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
6日(月)		平成27年度春季 入学式 葉山キャンパス	http://www.soken.ac.jp/event/20150406-10/
6日(月)~10日(金)		平成27年度前学期 総研大フレッシュマン・コース 葉山キャンパス	http://www.soken.ac.jp/event/20150406-10/

5月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
16日(土)	13:00-17:30	遺伝学専攻 大学院説明会 国立遺伝学研究所	http://www.nig-daigakuin.jp/
16日(土)	13:00-17:00	生命共生体進化学専攻 説明会 秋葉原UDXカンファレンス	
29日(金)~30日(土)		分子科学研究所 大学院説明会・オープンキャンパス 岡崎カンファレンスセンター中会議室	http://www.ims.ac.jp/education/opencampus.html
29日(金)~30日(土)		生命共生体進化学専攻 オープンキャンパス 総研大葉山キャンパス	

●基盤機関の行事

4月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
2月24日(火)~4月5日(日)	9:30-17:00	和宮ゆかりの雛かざり 国立歴史民俗博物館	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html#room3
10日(火)~5月6日(水・振)	9:30-17:00	大ニセモノ博覧会―贋造と模倣の文化史― 国立歴史民俗博物館	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html
10日(火)~9月6日(日)	9:30-17:00	山の流行服 国立歴史民俗博物館	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html
3日(金)・6日(月)	14:00-16:30	2015年度みんなく春の遠足・校外学習 事前見学&ガイダンス 国立民族学博物館 第5セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/research/sc/teacher/guidance
4日(土)	9:00-16:00	遺伝研一般公開 国立遺伝学研究所	http://www.nig.ac.jp/koukai/koukai2015/
5日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン―研究者と話そう「徹底解説!トラジャの米倉」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば→東南アジア展示場へ移動)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/378

11日(土)	13:00-15:00	第376回歴博講演会「ホンモノより価値のあるニセモノたち」 国立歴史民俗博物館 歴博講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html
12日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「台湾客家—日本、アメリカへの移住」 国立民族学博物館 本館展示場（ナビひろば）	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/379
14日(火)–5月6日(水・祝)	9:30-16:30 (入苑は16時まで)	伝統の桜草 国立歴史民俗博物館 ぐらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/project/index.html
18日(土)	11:00-12:30	【新展示関連】研究公演関連ワークショップ「ネパール仏教舞踊チャルヤーへのいざない」 国立民族学博物館 第5セミナー室	
18日(土)	13:30-15:00	みんなくゼミナール「10世紀の西アフリカに伝わった中国製磁器」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar
19日(日)	13:30-16:00	【新展示関連】研究公演「ネパールのネパール仏教舞踊チャルヤー」 国立民族学博物館 第5セミナー室	
19日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 国立民族学博物館	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon
25日(土)	13:30-15:30	第193回ぐらしの植物苑観察会「日本の桜草栽培史」 国立歴史民俗博物館 ぐらしの植物苑	
26日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「身体でみる異文化—琵琶を持たない琵琶法師のアメリカ聴き語り」 国立民族学博物館 本館展示場（ナビひろば）	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/380

5月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
2日(土)	10:00-17:00	Fusion フェスタ in Tokyo 2015「未来を創るエネルギー」 日本科学未来館	http://www.nifs.ac.jp/welcome/tokyo2015/
2日(土)	13:30-15:30	第24回歴博映画の会「轆轤技術の展開—木地から万年筆へ—」 国立歴史民俗博物館 歴博講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/movie/index.html
3日(日)	14:30-15:30	【新展示関連】みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「ぐらしに息づく豊かな宗教伝統—南アジアの新展示から」 国立民族学博物館 本館展示場（東南アジア展示場）	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/
9日(土)	13:00-15:00	第377回歴博講演会「あこがれのハワイ・たそがれのハワイ—太平洋戦争をとりまく諸相—」 国立歴史民俗博物館 歴博講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html
10日(日)	14:30-15:30	【新展示関連】みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「染織の伝統と現代—新しくなった南アジア展示場」 国立民族学博物館 本館展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/
14日(木)	16:30-17:30	市民公開講座・第105回分子科学フォーラム 岡崎コンファレンスセンター	https://www.ims.ac.jp/research/seminar/2015/03/05_3113.html

16日(土)	13:30-15:00	【企画展関連】みんぱくゼミナール「先住民が守る古代遺跡—アムール川流域シカチ・アリヤン村の岩面画」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar
17日(日)	14:30-15:30	【新展示関連】みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「南アジアの結婚式と音楽」 国立民族学博物館 本館展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/
21日(木)・7月 21日(火)	10:00-17:00	「岩に刻まれた古代美術—アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリヤン」 国立民族学博物館 本館企画展示場	
23日(土)	13:30-15:30	第194回くらしの植物苑観察会「酒銘にみる植物」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	
24日(日)	14:30-15:30	【企画展関連】みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「シカチ・アリヤンの岩面画とナーナイの神話」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/
24日(日)・6月 7日(日)・28日 (日)	10:30-16:00	【新展示関連】ワークショップ「インド刺繍とインドのくらし」「忠実再現!インド西部の刺繍布—展示資料の模写に挑戦」(3回連続講座・刺繍経験者向け) 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	
31日(日)	14:30-15:30	【新展示関連】みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう 国立民族学博物館 本館展示場	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/

【受賞等】

○文化科学研究科 地域文化学専攻 池谷和信 教授
「第7回日本タイトルだけ大賞」 受賞

○物理科学研究科 構造分子科学専攻 伊東貴宏 学生
錯体化学会第64回討論会 「ポスター賞」及び「CrystEngComm Poster Prize」 受賞

○物理科学研究科 機能分子科学専攻 Zhu Tong 学生
第87回日本生化学会大会 「若手優秀発表賞」 受賞

○高エネルギー加速器科学研究科 物質構造科学専攻 河田洋 教授らのチーム
公益財団法人 高エネルギー加速器科学奨励会 「平成26年度諏訪賞」 受賞

○高エネルギー加速器科学研究科 素粒子原子核専攻 小林隆 教授
公益財団法人 平成基礎科学財団 「第6回戸塚洋二賞」 受賞

○高エネルギー加速器科学研究科 素粒子原子核専攻 西口創 助教
公益財団法人 高エネルギー加速器科学奨励会 「平成26年度小柴賞」 受賞

○複合科学研究科 情報学専攻 河原林健一 教授
日本数学会 「2015年度日本数学会賞春季賞」 受賞

○複合科学研究科 情報学専攻 大向一輝 准教授らのチーム
第7回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム 「優秀インタラクティブ賞」 受賞

【編集後記】



3月24日に平成26年度春季学位記授与式が行われました。当日は富士山も綺麗に見えて、修了生の皆様には晴れやかな気分になっていただけたかと思います。皆様がこれから益々のご活躍なされますことを祈念いたします。

3月22日には平成26年度2回目の自然科学研究機構シンポジウムに参加しました。今回も多くの方が総研大ブースを訪れてくださいました。完全な乾燥状態から復活したネムリユスリカや、色が変わる蝶の羽の構造を利用した扇子などの講演に関連した展示も大変人気でした。今後も引き続き総研大の広報活動に取り組んでいきたいと思っています。今年度も皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

広報社会連携室 Y. H

広報社会連携室では、総研大の研究成果をメディアを通じて広く社会に発信しています。特に、総研大在学生が筆頭著者として研究論文を出版する際、プレスリリースを行う場合は、総研大と所属専攻（基盤機関）との共同プレスリリースを行っておりますので、是非総研大広報社会連携室までご連絡ください。

各専攻の学生・担当教員の「メディア出演」、「受賞・表彰」および「地域社会と連携・密着したアウトリーチ活動等の社会連携・貢献活動」についてニュースレター、ウェブ掲載等により発信しておりますので、各種情報は是非お寄せください。

研究論文を投稿する場合や、メディア等に出演される場合は、「総合研究大学院大学」と表記いただきますよう、総研大の知名度向上にご協力をお願いいたします。

発行 2015年4月6日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

SOKENDAI (THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES)

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

（27.4.1名称変更）広報社会連携室

TEL 046-858-1590 / FAX 046-858-1632

Email kouhou1(at)ml.soken.ac.jp

※(at)は@に変換してください。

©2015SOKENDAI